

# FinePlay!!

～ 互いに助け合う集団に～



豊中市立第五中学校  
第1学年 65期 No.8  
2016年5月27日(金)



## 中間テスト講評



中学生になって、初めての定期テストはいかがでしたか。良かった教科、良くなかった教科それぞれだったと思いますが、今回の反省を振り返り、またやり直しをしっかりとしていけば、約1ヶ月後の期末考査で取り返すことができます。教科担当の先生が講評してくれましたので、しっかりと読んで次に向けて対策をとっていきましょう！



「授業で取り組んだことがどれだけ理解できているか」をはかるのが定期考査である、という話を考査前にしました。平均点が示しているように、全体的にはよくできた結果となりました。また、点数が表しているのは「英語学習への自分の姿勢」でもあります。

“授業中の音読はまちがいを恐れずしっかりとやれていますか？”

“宿題は提出期限を守って出せていますか？”

“「わからない」をそのままにいませんか？”

“家庭学習の中で音読をちゃんとやっていますか？”・・・これらの質問に『大丈夫！』と自信をもって答えられるでしょうか。もし少しでも『自信がないなあ・・・』『できてないなあ・・・』という人は、その部分が反省すべき点です。特に⑤、⑥でアルファベットの書き方・英文の書き方を注意された人は、細かいところですが再確認してください。同じミスをしないことが大切です。4線で正しく書けなければ、1線（基準線のみ）だけで文字を書くのが難しくなります。また、日本語で意味を書くときに、小学校レベルの漢字が書けていない人が非常に多かったです。次回の期末考査からは、習った漢字は漢字で書かなければ○（正解）になりません。気をつけてください。今一度、アルファベットの大文字・小文字、英単語の書き方、英文の書き方について、自分の答案用紙を確認して不十分なところをしっかりと復習しておいてください。英語はまだ始まったばかりです。今ならいくらでもやり直しができます。まだ十分に間に合います。これからの授業でも、復習をどんどん入れていきますので。日々の授業、日々の宿題をまじめに前向きに取り組むよう心がけていきましょう。65期のみなさんの音読すばらしいですよ！



中間テストお疲れ様でした。中学生になって、初めて受けたテストにとまどった人もいたでしょう。特に国語は、単純に文字の数がとても多いです。初めて本文が載っている形式の問題で、どこに答えればいいのか、次はどこを見ればいいのか分からなかったという人は、早くこうした形式に慣れるためにもテストを何度も読み返して解きなおしましょう。内容としては授業で扱ったものを中心に基本的な読み取り問題がほとんどでした。点数を取る最大の近道は「しっかりと日々の授業を聞くこと」「ノートと教科書を何度も読み込むこと」これに尽きると思いますが、それでも思ったよりも点数が取れない人は、まず基本を確実にすることが必要です。今回の問題では[5]の文法や[6]の漢字を完璧にできるようにする。[1]の表現技法の問題なども、基本的な知識を問う問題ですので、うろ覚えでなく、漢字で書けるようにしておくことが大切です。また、「問題をよく読むこと」も大切です。当たり前のように感じるかもしれませんが、これができていない人が多いです。ア、イ、ウ、エの中からと書いているのに数字でこたえてしまったり、漢数字で答えよという問題に算用数字を答えてしまったりなどです。問題で何を求められているのかをしっかりと読み取り、それに当てはまる形の答えを書かなければなりません。テストで良い点だった人は緩まず、思ったより点が取れなかった人は反省するところはして次のテストに向かってください。



小学校の復習（４７都道府県名と地方名）の[1]と中学校になってからの学習内容[2]～[6]の出題でした。さすがに小学校の復習は共通プリントを準備したこともあり、よくできている人が多かったですが、やらなかった人との、得点のとり方には大きな差が出てしまいました。[2]～[6]の出題については、基本的に授業の中で取り組んだことを出題していたにもかかわらず、ノート、プリントの見直しが不十分な人が多く、それが思ったほど点数が伸びなかった要因ではないかと思います。復習における見直しは、“少なくとも見直しは7回繰り返す”、と良いと言われます。日々忘れそうなことを繰り返し振り返ることで記憶量をいかに維持し、増やそうと継続することが点数獲得につながると思います。どうやったらうまく覚えられるか、に王道や近道はありません。日々の生活習慣と授業への気持ちも含め、実力向上を目指してください。

中でも[6]の世界の気候分類については、雨温図を中心とした特徴の理解と分類が今後の単元でもさらに必要になってきますので、世界の気候分類については引き続き関心を持って学習に取り組んでください。次の単元（アジア州）では、さらに詳しい気候分類の学習や地域分類や自然地名の学習も続きます。テスト前に大慌てしないよう、日々できることを確実に続けていきましょう。併せて出される宿題なども確実に。

テストに備えた準備学習の要領もまだまだつかめていない人も多いとは思いますが、社会科はこれから色々な単元ごとに多くの地名や用語などがたくさん出てきます。日ごろの授業ごとに学習したこと等をその都度日々の復習で確実にするように心がけてください。



初めてのテストで、問題のようすもわからないまま、とにかくテスト勉強を頑張った成果はどうでしたか？

1. ツツジの展開図より名称 2. アブラナとタンポポの各部名称とスケッチ、ルーペの使い方 3. 双眼自体顕微鏡 4. プレパラートの作り方 5. 顕微鏡の使い方、プランクトン 6. 裸子植物（マツ）について から出題しました。

問題を見てもわかるように、今回のテストは白プリアや小テスト、授業の板書の内容からしか出題しませんでした。全体を通して名称など覚えることが多く苦戦した人も多くいたように思いますが、答え方（名称で、記号で）や漢字のミス、カタカナのミスも多くあり、覚え間違いをしないように注意することや最後の見直しが必要だと思いました。その中で、自分の勉強に足りなかったこと（時間？内容？漢字？注意力？）を、しっかり反省して次のテストの勉強にいかせるようにしましょう。次のテストは覚えることだけでなく考えなければならない問題も増えていきます。授業などしっかり集中できるようにしていきましょう。



初めての定期テスト、お疲れ様でした。今回は家庭学習用の教材である問題集・白プリント、そして授業で扱った問題を中心に出題しました。また、出題範囲である「正負の数」はこれから数学の学習を進めるにあたって必要不可欠な内容になります。すべての問題が解けるように○がつかない問題のやり直しを大切にしてください。

②～⑥は知識理解度を測る問題でした。特に②(4)(6)の正答率が低かったのが心配です。⑦～⑨は数学的技能を確かめる問題でした。特に⑨の計算問題は必ずできるように復習してください。分数や小数になると極端に正答率が下がる傾向が明らかになりました。「練習あるのみ」です。①⑩以降は数学的な見方や考え方ができるかを問いました。①⑤は授業で扱っていない問題でしたので難しかったと思います。一の位の数字の変化の規則性を見つけることがポイントでした。

全体的には日々の宿題をしっかりと取り組んでいる人が多く、確実に力をつけているなど感じています。何の勉強をせずに90点台、80点台をとることはできません。大切なことは「今、できていることがこれからもできるか」ということです。内容はどんどん難しくなりますがあきらめずにしっかり取り組むことが大切です。一方、今回のテストでよい結果を出すことができなかった人はここからの巻き返しが大切。練習問題にしっかり取り組み、授業で「わかったつもり」になっていることを家庭学習で確実に「わかった」に変えていってください。前向きに取り組んでいきましょう。

五中では、定期考査ファイルを活用し、テストに向けた計画を立て、学習に自主的に取り組む姿勢を養い、各教科担当からのコメントによる学習への助言やテスト直し等の振り返りなどを行っております。

また、テスト問題の傾向を大まかに把握するために、定期テストにおける度数分布表をお渡しし、各教科からのコメントを補助する形で見ていただいております。あくまでも、学習に取り組む姿勢と照らし合わせて、次の学習につながることを目的としています。学習は、単なる他人との比較ではありません。学習課題へどのように取り組んだのか・取り組むかを大事にし、保護者と生徒本人が学習に対するがんばりを認め合い、課題を見つけるきっかけをつかんでいただければと願っております。

豊中市立第五中学校 教育課程推進委員会